

# 6年間かけて「自分」を作る

2014年  
6月27日  
取材

10年後20年後の自分が見える6年生  
相模大野高校3年生が卒業し、6学年そろった相模原中等教育。6回目となる学校訪問も今回が1期生の姿を見る最後の訪問です。そこで今回は過去の取材も振り返りながら、相模原中等教育の教育実践をレポートします。



■ 6年生自由選択科目「コミュニケーションスキルズ」で留学生と一緒に

## 6年教育の「強み」を生かして

入学後最も学力差が出るといわれるのが数学。進路決定にも影響する教科です。相模原中等の前期課程では、数学の授業が週6時間確保されています。加えて土曜講座でのフォロワーや3・4年生では2クラスを3つに分ける習熟度別クラスなど、高い授業水準を保ちながら「もし学習について来られない生徒がいれば徹底的に面倒を見る」2010年取材時田中前校長体制です。副教材「体系数学」を使った先取り学習は、6力年一貫教育ならではの4年前訪問した際も、高校数学「メネラウスの定理」に挑戦する1期生(当時2年生)の姿が印象的でした。その先取りによって後期課程の4年次に数学I・A・IIを、5年次に数学III・Bを履修できるようにし、6年次は進路希望に合わせた受験態勢が取れるカリキュラムが組まれています。

ちなみに後期課程は単位制ですが、国立進学向けカリキュラムを編成し、選択科目は4年次で芸術、5年次では理科と自由選択科目2単位のみ。5年生までに受験に必要な科目の履修を終え、6年次では学んだ学習をさらに深化できるようにレベルの高い自由選択科目を多く履修できるようにになっています。

## 「相模原メソッド」の英語指導

ますます重要度を増す英語。その指導には、中高一貫校それぞれの特徴が表れています。相模原の1年次は徹底的に「発音・暗唱・ドリル」。副教材「プログレス」や「キクタン」や「キクジユク」を活用し語い力を増やしていきます。1期生が2年生だった時のGTETC(スコア型英語検定)は、全国平均より15%ほど高いスコアでした。また3年次からは英語によるプレゼンテーションやレポート作成も加わり、教科書に載っている単語以外にも発表に必要な単語を自分で調べることで、語い力を高めていきます。授業以外では、3年生で3泊4日英語漬けのイングリッシュキャンプ、4年生で11日間に及ぶオーストラリア語学研修(希望者など)、コミュニケーションツールとしての英語を駆使する機会が用意されています。昨年訪問した英語授業では、5年生の男子が流ちょうな英語で先生の質問に答える様子も見られました。

「年2回受験するGTETCスコアを見ると、3年生の多くは大学での英語による授業にもついていけるレベルに達しています。先生の個人技ではなく、どの先生が指導しても成果を出せる授業スタイルができています」と授業を案内してくださった鈴木教頭先生。まさに「相模原メソッド」が確立されているといえます。

## 「ゆっくり」探す「キャリア教育

相模原中等教育のキャリア教育は6力年教育の強みを生かした「ゆっくり探る」。1期生は入学まもなく校長先生と一緒に高学年でリセットする必要はありませんでした。また受験においても『追い込み』というより、6年間かけてイーブンベースで勉強を積み重ねてきたといえます。

入学時を知る鈴木教頭先生は「周囲からの期待の高さに負けることなく、彼らは本当にがんばってきたと思います。そして、みんな本心に仲が良く和やかです」。自習室で自習に励む男子生徒の後ろ姿を見て「あの子は入学時はね...と目を細めながら話される様子に、中高一貫校ならではの、先生と生徒とのつながりを感じた瞬間でした。

1期生の健闘を祈りつつ、加賀校長先生のメッセージをご紹介します。訪問記の結びとします。

## 息づく相模原スタイル 1年生授業点描



本校は6年間かけてしっかりした自分を作る場です。A君ともBさんとも違う自分自身を見つけて伸ばして欲しい。リーダーは周りから信頼され評価されてこそリーダーです。ですから、まず第一に良い人間関係を作ることから出発してほしい。人との違いに気づき、人の良いところを伸ばし自分の良いところを伸ばしていける人間関係です。

そして心身の健康。自己管理能力が大事です。それがあれば、地道に勉強も続けられ、進路も自ずと見えてくることでしょう。そして見た以上は、揺るがずに突き進んでいける。10年後20年後の自分というのが見えている中6生になって欲しいと思います。



神奈川県立相模原中等教育学校  
第二任校長 加賀大志 先生



副校長 後藤直樹 先生



教頭 鈴木 宏 先生

■所在地  
神奈川県相模原市南区相模大野4-1-1  
TEL (042) 749-1279  
FAX (042) 740-2852  
■募集/男女80名ずつ計160名  
■学区/神奈川県内全域  
■選考  
適性検査I・II、グループ活動、調査書  
access 相模大野駅北口エスカレーターを降り伊勢丹、中央公園を横切り徒歩約10分



「左」受験学年とは言え、授業に臨む生徒の真剣さが印象的な古典授業。また生徒の、先生への信頼感も随所に感じられた。



「右」インターナショナルスクールのように英語が飛び交う6年生の英語授業。レベルの高さには毎回感心させられる。